

COMMUNICATION

Kokusaika Newsletter
2010 No.5

Message to 3rd year students
Special Report – Visit to Korea

The 8th Debate Tournament
Congratulations!

Past Events

Dear 3rd Year students,
Congratulations on your graduation!! Once again, it's time for us to say goodbye. Time really flies, doesn't it? We hope you had a GREAT time here in the Kokusaika. We will miss you all, but it's time for you to start a new life. We won't forget your energy and contribution to our school. And we trust everything you learned and experienced here in the past 3 years will help you in the future. Best wishes for an even more exciting and fulfilling new life. Good Luck and see you again!!



The 8th Debate Tournament

2年国際科セミナー 2/28

Resolved: Japan women should continue working fulltime after getting married and having children.

論題：日本の女性は結婚・出産後もフルタイムで働くべきである。

今年は、長く続いた死刑制度に関する論題を変更し、女性の労働問題について論じてもらいました。実施後のアンケートに、「自分の将来に置き換え考えることができた」と書いてくれた人もいましたが、そう遠くない将来の自分の姿と、その頃には実現されていてほしい労働環境や子育て・介護の環境などについて思いを巡らせるきっかけになっていたら幸いです。

<肯定側で多かった主張>

家計のために必要である

(働き続けた方が生涯賃金のはるかに多い・途中でやめると良い職に就けない・特に子供を育てるにはお金がかかる・経済が低迷しており共働きの方が安心・フルタイム共働きでないとやっていけない 等々)

女性も男性同様、仕事も家庭も楽しむ権利がある

社会(企業・国)が女性労働者を必要としている

<否定側で多かった主張>

子供の健全な生育には母親との時間が必要である

仕事と家事・子育て/介護では女性の負担が大きすぎる

カップルが協力して家事/子育てをするような環境(時短・育休・保育所など)が整っていない

女性は労働において未だ差別的待遇(給料・昇進・業務内容)を受けているので割に合わない

<アタック・ディフェンスでの争点>

夫の収入(+妻のパート収入)でも家計や教育費をまかなえるのか、余裕のある暮らしができるのか?

労働環境や子育て環境が悪い現実を重要視するのか、改善されつつあるという展望に重点を置くのか

女性にとっての生き甲斐やストレスはどこから生まれるのか?

子供にとって良い生育環境とは?



文化ホールでの決勝戦



熱戦の続いた予選



優勝チーム E6



準優勝チーム G1

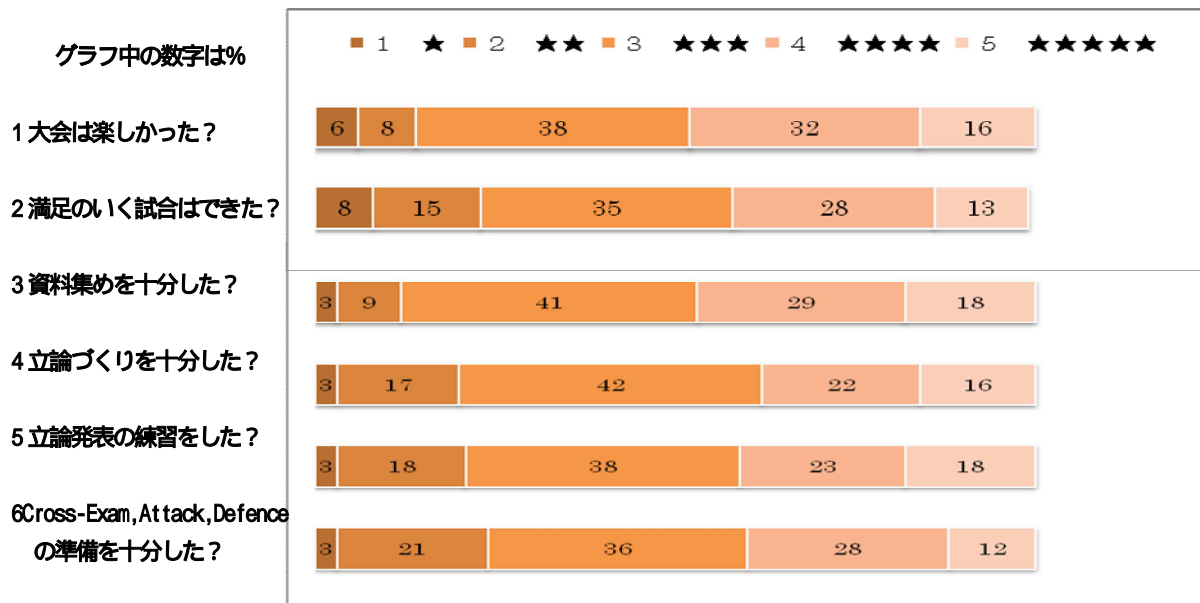


3位 E5



3位 E2

ディベート大会アンケートの結果です。右側の星5つの方がそう思う割合が高くなります。



♥♥♥♥♥ ♥♥♥♥♥ ♥♥ Special Report ♥♥ ♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥

第10回目韓高校生交流キャンプ 2 / 8 ~ 12 2G 浦崎雄貴くんのレポート

今回、僕は日韓経済協会主催の第16回日韓高校生交流キャンプに参加しました。

このキャンプでは、事業発表を主な目的として日韓の高校生が約10人の合同チームで事業アイテム(仮想の商品や企画)を一緒に考え、2日目には明洞の街に出て、街頭アンケート調査を行いました。また、ほとんど毎日、4日目の「事業発表会」に向けて徹夜で準備をしていました。僕たちの班は、「情報提供サービス」というテーマで考え、企業を起こしたい人に効率よく経営ができるように仲介役となってプロからの情報を提供し、「人と人をつなげる」役割を果たすという事業案を考えました！



今回、「日韓高校生交流キャンプ」に参加して、たくさんの経験をしました。それは、日韓の多くの友達と4泊5日のキャンプを一緒に過ごす中で同じ目標に向かってともに悩み、意見を伝えあい、お互いの意見を理解し合い、喜びを分かち合うことができたことです。また、時にはなかなか思った通りに事業案が進まず、苦勞したこともありましたが、しかし、そんな時もお互いに励まし合い、元氣づけることで乗り越えることが出来ました。

また、周りの友達はみんな、レベルの高い高校生ばかりだったので、彼らから学べることもたくさんありました。その中でも特に驚いたのが同じチームの韓国人の女学生で、日本語をととても流暢に話すことができ、チーム内で日韓の意見などを通訳していました。

最後に、僕はこのキャンプに参加することができて、本当によかったと思います！！このキャンプで経験した一つ一つが自分にとって新鮮なものばかりで得たものがとても多かったように思います。一度、外国に出ると日本では経験できないことがたくさんでき、物事の見方が大きく変わります。

今回のキャンプの倍率は定員50人に対して7倍という難関でしたが、ぜひチャレンジしてみてください！！



Congratulations!!

第28回全日本高校生中国語スピーチコンテスト 1/10

優秀賞 3F 坂田大地 さん 朗読の部

話してみよう韓国語 2011 東日本地域大会 1/30

最優秀賞 3E 後藤絵里香, 3G 山下花奈 さんペア

卒業式後 3/12 に行われる全国大会に向けて
現在も練習中。Good Luck!!

2010 年度 第3回英検合格

準1級 3E岡本瑞希, 3G 海野里奈, 塚本千穂, (2A高木康年) さん

今回この3人が合格して、現3年生は1級に1名、準1級に5名が合格したことになります。

昔はなぜか「準1級なんて帰国子女でないと無理」みたいな変な神話があったのですが、3年位前から先輩達が積極的に挑戦してくれるようになり、合格者は増えています。ある程度力が付いてきたなと思ったら、（例えば9月のTOEICで600点近辺の人などは）次回準1級を受けるつもりで問題集に取り組み始めると良いと思います。

2級、準2級合格者もおめでとう こちらの級の集計は時間がかかるので後ほど。

Past Events

新春を祝う会 2 / 6

成田市国際交流協会主催のこのイベントは、現在でも旧暦でのお正月の方を盛大に祝う中国、韓国、モンゴル、出身の方々を中心としたお祝いの会で、それぞれの国や日本の正月料理や舞踊、芸能などを味わえます。本校からはボランティアスタッフとして23名が参加。朝から準備のお手伝いをしたり、会場でお料理を配ったり、子供たちのゲームを手伝ったり、くじ抽選会の司会進行をしたりと、運営のお手伝いをしました。また、着物やチマチョゴリなども着せていただき、楽しい1日を過ごしました。さらに、舞台上では1Hのザヤーさんがモンゴルの舞踏を、2E 田上楓・2G 小澤理子さんが韓国語のスキットを披露しました。(男子生徒も参加してくれたのですが、写真がなくてごめん)



韓国語の増田先生と



韓国語スキットを披露する楓・理子さん



モンゴル舞踏を披露するザヤーさん



Daniel、Brennan も
来てくれました



もちろん頑張って働きました



中国語の徐先生と